

研究計画概要

助成年度・種別	2024年度 若手研究助成
研究者	水野 君平
所属	北海道教育大学旭川校
研究テーマ	公正推論と多元的無知がいじめ目撃時における態度に与える影響
研究計画概要	<p>いじめは被害者の落ち度責めることなく、傍観者といった周囲の問題としても捉える必要があるが、「いじめは被害者も悪い」という意見が存在する。直接的な因果関係はない事由から被害者の有責性を推論することは「内在的公正推論」と呼ばれ、いじめ判断を歪ませるかもしれない。また、個々人はいじめを悪いと思いながら、「周囲は悪いと思っていない」と集団規範を誤信する(多元的無知)といじめ被害者を助けにくくなる。しかし、いじめに対してこれらを用いた研究自体が十分ではない。</p> <p>本研究では生徒と教師を対象にした質問紙実験を行う。本研究ではいじめの問題に対して、内在的公正推論や多元的無知によって事例をいじめと判断しにくくなるか、被害者に対する援助意図(生徒)や介入の緊急性(教師)といった態度が悪化するかを検討する。</p> <p>本研究はいじめ目撃者の心理的メカニズムからいじめ問題を明らかにする。加えて、教育実践に対する意義もある。いじめ防止教育や日々の生徒指導に関して、「自己責任論」的態度が却って被害者非難に繋がる可能性や、集団全体で「いじめは許されない」と互いに信じるのがいじめ問題に取り組むために重要だと示唆できる。</p>
選考委員からのコメント	<p>いじめの被害体験が後年の精神的健康被害に及ぼす影響は極めて大きいことが示唆されている。「いじめ防止」は安全、安心できる社会の構築の第一歩と言えよう。本研究は、「公正推論」と「多元的無知」という視点からの実証研究であり、その研究成果はいじめ防止教育などに大きく貢献し得るものと期待が持てる。</p>